

1. 高度処置と先進的抗癌剤件数増加

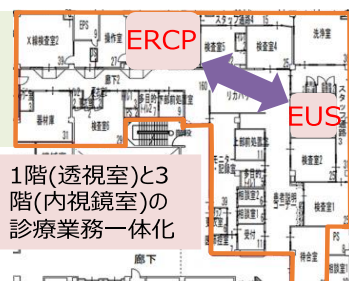
診療報酬額 (同規模17国立大学中1位)

順位	附属病院名	稼働額
1	山梨大学	2,204,627,311
2	富山大学	2,142,871,677
3	滋賀医科大学	1,994,845,112
4	宮崎大学	1,943,112,900
5	愛媛大学	1,854,192,270
6	岐阜大学	1,675,224,217
7	山形大学	1,559,311,137
8	浜松医科大学	1,556,100,083
9	福井大学	1,415,228,981
10	香川大学	1,318,140,548



拡充した新内視鏡室 (従来の3倍の広さ)

新設
X線検査室
面談室



1階(透視室)と3階(内視鏡室)の診療業務一体化

LED照明下のESD

(長時間処置での眼精疲労を軽減)

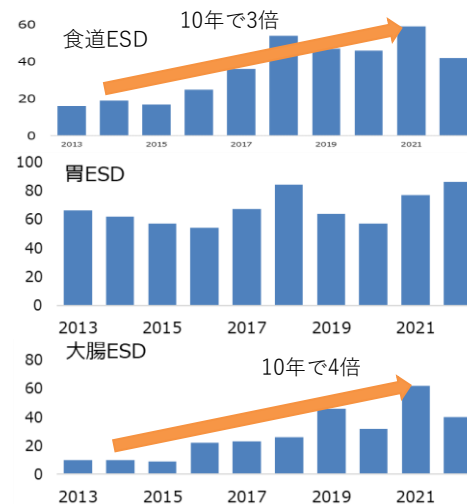
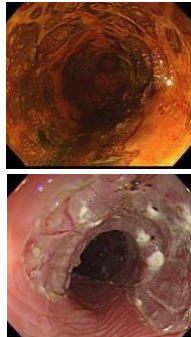


- 高度処置・抗がん剤治療件数の増加で診療報酬額1位 (同規模17国立大学中)
- 拡充した新内視鏡室により効率的に多数の検査
- 分子標的治療など先進的薬物治療の件数が特に肝癌・胆膵癌で大幅に増加

通院治療センター 利用回数(2023年)	
肝・胆・膵がん	999
胃・食道がん	199
大腸がん	114

2. 消化管癌への低侵襲内視鏡治療

ESD (endoscopic submucosal dissection, 内視鏡的粘膜下層剥離術)

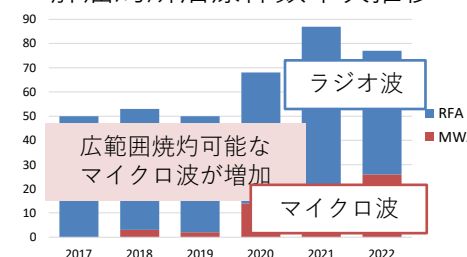


- 低侵襲な内視鏡で食道・胃・大腸癌を治療するESD件数が、技術の進歩に伴い大幅に増加
- 咽頭癌の耳鼻科との合同手術、十二指腸癌の消化器外科との合同手術も積極的に実施

3. 先進的肝癌局所治療：マイクロ波焼灼術



肝癌局所治療件数年次推移



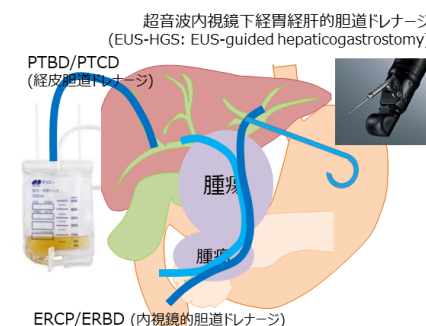
4. 先進技術を集約して膵癌予後改善

胆膵内視鏡件数増加 早期診断・外科手術症例増加

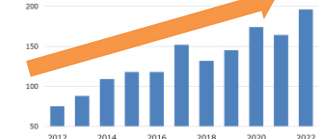
年度	ERCP件数	EUS件数	西暦 (3年毎)	全体 N	Stage 0~II				
					症例数	割合			
	400 (件)	700 (件)			0 50 (例)	0 50 (%)			
2019		401		657	2006~2008	74		25	
2020		418		601	2009~2011	111		58	
2021		449		662	2012~2014	139		48	
2022		504		794	2015~2017	148		71	
2023		556		784	2018~2020	150		70	
					2021~2023	124		74	

ドレナージ技術の進歩

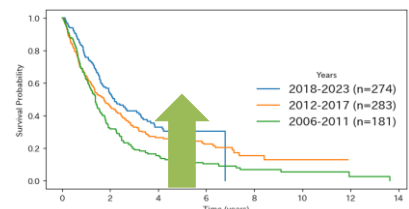
閉塞性黄疸による抗癌剤治療からの脱落を回避



胆管ステント留置症例は10年間で3倍に増加



山梨大学病院：
膵癌734症例/18年
5年生存率：12%から31%へ



- 先進的胆膵内視鏡の充実により膵癌早期診断症例や外科手術症例の増加
- 胆道ドレナージ技術の進歩により抗癌剤治療からの逸脱回避
- 上記先進技術の集約により膵癌の予後は経時的に改善